

UMLモデリング技能認定試験 L2試験  
実践紹介セミナー

UMLモデリング認定試験  
L2受験体験談2

2006年7月19日

(株)日立製作所 ソフトウェア事業部  
浜口 弘志

目次

- 1 はじめに
- 2 試験の概要と傾向
- 3 試験の対策と結果
- 4 まとめ

## 目次

### 1 はじめに

### 1 はじめに

2005/2/12	<b>L1-T2受験 正解率90%強(合格)</b> L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約15時間
2/19	<b>L2受験(1回目) 正解率40%弱(不合格)</b> L1の問題集を参考に、前日に学習。約4時間
9/16	<b>L2受験(2回目) 正解率60%弱(不合格)</b> L1の問題集を参考に、1ヶ月間かけて学習。約50時間
9/23	<b>L2受験(3回目) 正解率80%弱(合格)</b> L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約10時間

## 目次

## 2 試験の概要と傾向

### 2 -1 試験の概要

#### UMLモデリング技能認定試験 L2

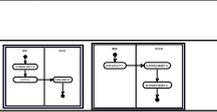
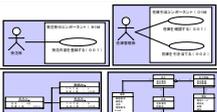
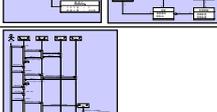
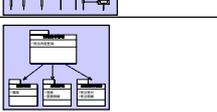
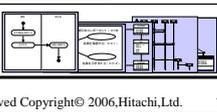
##### 試験の概要①

要求されるスキル	説明
UMLモデリングの読書きができる (モデリングリテラシーがある)。	開発範囲の一部を担当しモデリングができる。 他者のモデルの意味を理解できる。

##### 試験の概要②

出題数	複数選択式15問(設問を入れると22~24問)
合格点	正解率65%以上
試験時間	85分
試験形式	試験会場にてコンピュータを使い受験
持ち込み	不可。ただし会場にてメモ用ボードを配布。

## 2 -2 試験の傾向

UMLモデリング技能認定試験 L2		試験範囲の各セクション
①全般	UMLとモデリングに関する一般知識	
②ビジネスモデリング	ビジネスフローを中心とした問題。 【アクティビティ図、ステートチャート図】	
③要求分析モデリング	要求分析を中心とした問題。 【ユースケース図】	
④構造モデリング	静的構造の表現を中心とした問題。 【クラス図、オブジェクト図】	
⑤振る舞いモデリング	オブジェクト間相互作用の表現を中心とした問題。 【相互作用図、ステートチャート図】	
⑥設計モデリング	実装を意識したモデリング 【クラス図、シーケンス図、パッケージ分割など】	
⑦フェーズをまたがる問題	①～⑥の複合問題 【各種ダイアグラム】	

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 7

## 目次

### 3 試験の対策と結果

### 3 -1-1 試験の対策(L2受験1回目)

#### ●対策

L1-T2受験	正解率90%強(合格)
L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約15時間	
L2受験	正解率40%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、前日に学習。約4時間	
L2受験	正解率60%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、1ヶ月間かけて学習。約50時間	
L2受験	正解率80%弱(合格)
L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約10時間	

学習時間:1h/1日、合計4h

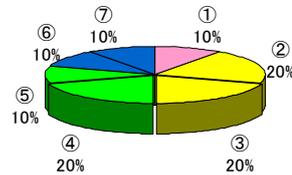
参考書 :UMLモデリング技能認定試験  
入門レベル(L1)対応問題集  
武政昭利(オージス総研)著

対策 :L1受験時に得た知識の確認

L1では90%以上の正解率だった、  
L2受験に向けて簡単な復習のみ

#### ●学習方針

①全般	簡単に復習
②ビジネスモデリング	簡単に復習
③要求分析モデリング	簡単に復習
④構造モデリング	簡単に復習
⑤振る舞いモデリング	簡単に復習
⑥設計モデリング	簡単に復習
⑦フェーズをまたがる問題	簡単に復習



学習時間の比率

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 9

### 3 -1-2 試験の結果(L2受験1回目)

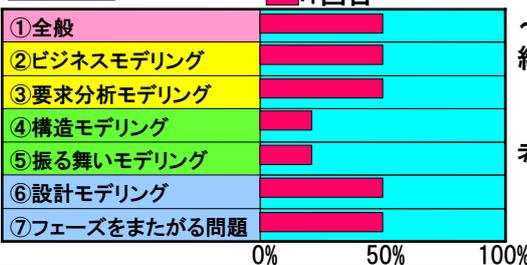
#### ●受験時の注意点

出題数
合格点
試験時間
試験形式
持ち込み

- ・会場でメモ用ボードが配布される
- ・1問につき3~4分程度

※L2試験の概要を掴むのが第一目的。  
※あわよくば合格!

#### ●試験結果



～正解率40%弱(不合格)～  
結果

- ・半分程度しか解答できず。
- ・解けない問題が多数。

考察

- ・L2試験の情報不足
- ・単純な学習不足

0% 50% 100%

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 10

### 3 -2-1 試験の対策(L2受験2回目)

#### ●対策

L1-T2受験	正解率90%強(合格)
L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約15時間	
L2受験	正解率40%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、前日に学習。約4時間	
L2受験	正解率60%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、1ヶ月間かけて学習。約50時間	
L2受験	正解率80%弱(合格)
L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約10時間	

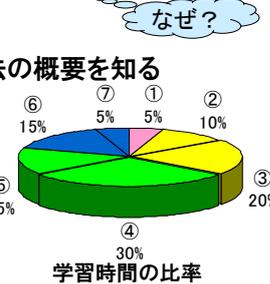
学習時間:1h~2h/1日、合計50h  
 参考書 :UMLモデリング技能認定試験  
 入門レベル(L1)対応問題集  
 武政昭利(オージス総研)著  
 対策 :モデル記述の繰り返し

↓  
**問題文を読み、モデルを手で書く**  
 受験1回目との違い

#### ●学習方針

- ①全般
- ②ビジネスモデリング
- ③要求分析モデリング
- ④構造モデリング
- ⑤振る舞いモデリング
- ⑥設計モデリング
- ⑦フェーズをまたがる問題

- UMLの仕様や各種開発手法の概要を知る
- モデリングの感覚を掴む
- モデル記号の意味を把握
- モデリングの感覚を掴む
- ①~⑤の知識を確認



All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 11

### 3 -2-2 試験の結果(L2受験2回目)

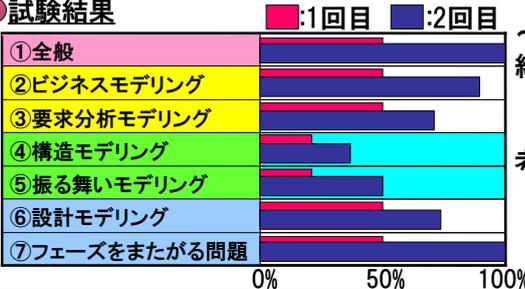
#### ●受験時の注意点

出題数
合格点
試験時間
試験形式
持ち込み

- ・会場でメモ用ボードが配布される
- ・1問につき3~4分程度
- ・採点は設問単位、部分点はない

**重要**  
 ○難しい問題は後回しにしよう  
 (システムのチェック機能でチェックをつけておく)  
 ○メモ用ボードを多用しよう

#### ●試験結果



~正解率60%弱(不合格)~  
 結果

- ・見直しができなかった
- ・④⑤で不正解多数

#### 考察

- ・難しい問題に時間をかけすぎた
- ・関連と多重度、処理の流れが理解不足

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 12

## 3 -3-1 試験の対策(L2受験3回目)

### ●対策

L1-T2受験	正解率90%強(合格)
L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約15時間	
L2受験	正解率40%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、前日に学習。約4時間	
L2受験	正解率60%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、1ヶ月間かけて学習。約50時間	
L2受験	正解率80%弱(合格)
L1の問題集を参考に、1週間かけて学習。約10時間	

学習時間:2h/1日、合計10h

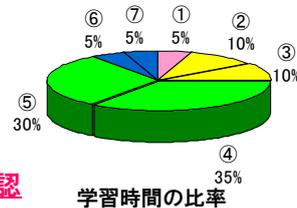
参考書 :UMLモデリング技能認定試験  
入門レベル(L1)対応問題集  
武政昭利(オージス総研)著

対策 :④⑤を中心に復習

問題文を読み、モデルを手で書く

### ●学習方針

①全般	復習
②ビジネスモデリング	復習
③要求分析モデリング	
④構造モデリング	関連と多重度の復習 処理の流れを再度確認
⑤振る舞いモデリング	
⑥設計モデリング	復習
⑦フェーズをまたがる問題	復習



All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 13

## 3 -3-2 試験の結果(L2受験3回目)

### ●受験時の注意点

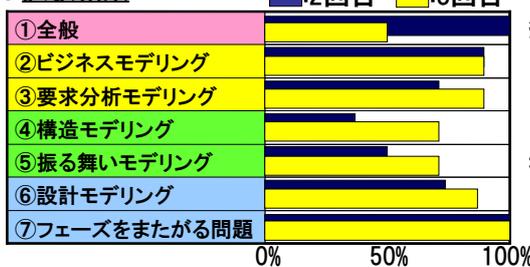
出題数
合格点
試験時間
試験形式
持ち込み

- ・採点は設問単位、部分点はない
- ・1問につき3~4分程度
- ・会場でメモ用ボードが配布される

- 難しい問題は後回しにしよう  
(システムのチェック機能でチェックをつけておく)
- メモ用ボードを活用しよう  
(モデリングの過程を記述し、見直し時に活用する)

重要

### ●試験結果



~80%弱(合格)~

結果

- ・見直しの時間を十分にとれた
- ・効率的な見直しができる
- ・見直し時に6問修正

考察

- ・解答困難な問題は捨てた
- ・メモ用ボードを活用できた

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 14

## 目次

### 4 まとめ

## 4 まとめ

### 学習時の注意点

1. 問題を解くだけでなく、モデルを実際に書いてみる
2. 問題文(条件)とモデルの相互関係を掴む



「UMLモデリング教科書 UMLモデリング L2」  
著: 桐越信一 / 国正聡 / 竹政昭利 / 照井康真 / 橋本大輔  
翔泳社出版  
<http://www.seshop.com/detail.asp?pid=6581&mode=author>

### 受験時の注意点

1. メモ用ボードの記述……モデリングの過程を記述し、見直し時に活用
2. 難しい問題は後回し……余裕があれば解答、解答を諦めることも重要
3. 時間配分に注意……1問3～4分で終わらせる(できないものは後回し)
4. 見直しを行う……ケアレスミスや誤操作は意外に多い

御清聴ありがとうございました

UMLモデリング認定試験  
L2受験体験談

*Jul. 19, 2006*

(株)日立製作所 ソフトウェア事業部  
浜口 弘志